

『マンガでわかる オトコの子の「性」  
—思春期男子へ13のレッスン』出版記念

## 「13歳からの男子の"性"を考える」 シンポジウム

2015年6月20日(土) 14:00～17:30(開場 13:30)

立教大学 池袋キャンパス 11号館3階 A301教室

### 注目が集まる思春期男子の性の課題と解決策を 各界の専門家たちと紐解く!

昨今、インターネットや性的メディアの影響などを受け、思春期の性に関する課題が多角化しているといわれます。性経験のある男子高校生は約7人に1人の割合と低年齢化がすすむ(※1)一方で、「草食化」という言葉に象徴されるように、10代後半男性の34%が性に無関心もしくは嫌悪感を持っている(※2)という調査結果が報告されています。学校や家庭では見えづらい思春期男子の性。本シンポジウムでは、当事者である思春期の子どもたちの声を聞くとともに、性教育の第一人者であり、男子の性への造詣が深い村瀬幸浩氏をはじめ、教育研究者、泌尿器科医、ジャーナリスト、教育や性に関わるNPOといった様々な分野の第一線で活躍する有識者を迎え、思春期男子とどう向き合っていくべきか意見交換を行います。是非、ご期待ください。

(※1) 2011年 日本性教育協会「若者の性」白書—第7回青少年の性行動全国調査報告—より

(※2) 2014年 一般社団法人日本家族計画協会 第7回 男女の生活と意識に関する調査より

■主催:立教大学 21世紀社会デザイン研究科 ■共催:立教大学 社会デザイン研究所 ■協力:NPO法人ピルコン

■問合せ先:立教大学 21世紀社会デザイン研究科委員長室 TEL:03-3985-2181(月～金)11:00～18:00

■お申し込み:当日参加可・入場無料。下記サイトから参加事前お申し込み・メッセージの募集をしております。

事前お申し込みサイト >> <http://peatix.com/event/90458>

## ■プログラム

開会ご挨拶:

中村 陽一 氏(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授・法学部教授兼任、社会デザイン研究所所長)

【第1部】基調講演『男子を取り巻く性の現状と課題について』14:10~15:00

村瀬 幸浩 氏(日本思春期学会名誉会員、“人間と性”教育研究協議会幹事)

【第2部】思春期の子どもたちに聞くところ・からだ・性の悩み 15:00~15:30

染矢 明日香 氏(NPO法人ピルコン理事長) / 思春期の子どもたち

【第3部】パネルディスカッション『これから必要な性の学びについて』15:40~17:00

村瀬 幸浩 氏 / 染矢 明日香 氏 / 岩切 準 氏(特定非営利活動法人夢職人 代表理事)

内田 洋介 氏(慈愛会今村病院泌尿器科医部長、鹿児島大学非常勤講師) /

金子 由美子 氏(『季刊セクシュアリティ』編集長、日本思春期学会理事、公立中学校養護教諭) /

渡辺 真由子 氏(メディアジャーナリスト) / コーディネーター:山口 いわお 氏

(NPO法人JASH 日本性の健康協会代表、看護師、八千代市思春期保健ネットワーク委員)

メッセージのご紹介・各種ご案内・閉会ご挨拶 17:10~17:30

## ■講師・パネリスト・コーディネーター経歴(順不同)



村瀬 幸浩 氏(日本思春期学会名誉会員、“人間と性”教育研究協議会幹事):

私立和光高等学校保健体育科教諭として25年間勤務、この間総合学習科を兼務し、「人間と性」を担当。その後、一橋大学や津田塾大学等で「セクソロジー」の講師を20年余にわたり務めた。自分と相手の性を尊重する「柔らかな関係づくり」を提唱。『男子の性教育—柔らかな関係性づくりのために』『男性解体新書』『性のこと、わが子と話せますか?』他著書多数。



染矢 明日香 氏(NPO法人ピルコン理事長):

慶應義塾大学在学中にピルコンを設立し、2013年NPO法人化。性教育・ライフプランニングプログラムやコンテンツの開発と普及を行う。大学生ボランティアを中心に身近な目線で性の健康を伝えるLILYプログラムでは、のべ2,000名以上の中高生に届け、思春期からの正しい性知識の向上と対等なパートナーシップの意識醸成に貢献している。



岩切 準 氏(特定非営利活動法人夢職人 代表理事):

東洋大学大学院社会学研究科社会心理学専攻修士課程修了。2004年から東京都東部エリアを中心に、子どもや青少年を対象とした社会教育事業に取り組む。国内の「子どもの貧困」の問題に取り組む公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン理事。子どもと若者の成長を支えるウェブマガジン「ひみつ基地」編集長。



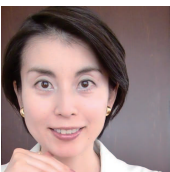
内田 洋介 氏(慈愛会今村病院泌尿器科部長、鹿児島大学非常勤講師):

泌尿器科医の立場から地元高校生への性教育講演や、幼い男の子のお母さん達への「おちんちん講座」などを行う。所属学会は日本泌尿器科学会(専門医、指導医)、日本性機能学会(専門医)、日本性科学会(認定セックスセラピスト)、日本性感染症学会(認定医)、日本思春期学会、GID学会など。NPO法人JASH 日本性の健康協会会員。



金子 由美子 氏(『季刊セクシュアリティ』編集長、日本思春期学会理事、公立中学校養護教諭):

中学校の養護教諭として三十数年、保健室で思春期の生徒たちの「からだ・こころ・性」の成長を見守り、発達の支援を行う。現在“人間と性”教育研究協議会編集『季刊セクシュアリティ』の編集長を務め、現職の養護教諭だからこそそのリアルを追求し、「子どもの性」の現実に焦点を当てた編集を心掛けている。



渡辺 真由子 氏(メディアジャーナリスト):

青少年の「性」や「ネットいじめ」、ジェンダー問題を15年以上にわたり取材し、メディア・リテラシーの観点から対応策を提言。豊富な取材経験に基づく、青少年心理の分析に定評。「人間の尊厳が重んじられる社会」の構築へ向け、著書の執筆や講演を精力的に行なう他、新聞連載・テレビのコメンテーターを多数務める。



山口 いわお 氏(NPO法人JASH 日本性の健康協会代表、看護師、八千代市思春期保健ネットワーク委員):

自身・パートナーの不妊症や産後クライシスの体験から日本の性のあり方に着目し、NPO法人JASH 日本性の健康協会を設立。教科書や統計では学べない「当事者の声」を発信し、明るく楽しくまじめに性について話せる社会の実現を目指す。講演会では自らの体験を交えつつ男子の性について伝えている。ふたりの男児の父。